

2022年2月14日
ケーエム精工株式会社
代表取締役 北井敬人
代表取締役 北井啓之

取引先様各位

ご報告

拝啓 初春の候、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、ケーエム精工株式会社は本年2022年10月に設立50周年を迎えます。これもひとえにお取引先様の皆様方の長年にわたるご支援のお蔭と深く感謝申し上げる次第でございます。

1972年10月に創業者である北井正次、北井正明の兄弟2名で数人の従業員とともに大阪府寝屋川市の寝屋川工場にて輸出向け小径ナットの生産を始めました。それ以来、1984年輸出向けタッピンねじ製造のため東大阪加納工場設立、1991年東大阪本社ビル建設、1997年三重県伊賀市に三重工場を建設、寝屋川工場で生産の自動車向けナット、及びステンレスナットの生産を全面移管。2000年には東京営業所開設と70年代のオイルショック、80年代の円高不況、90年代のバブル崩壊と日本経済激動の時代に荒波に揉まれながらも、少しずつではありますが着実に前進してまいりました。そして現在では本社、加納工場、三重工場、東京営業所の4拠点で総勢120名を超える従業員を抱えるまでに成長することができました。

そして次の50年を見据え更なる成長を目指し、この度東証一部上場で、我々と同じくねじを製造する日東精工株式会社様に、保有全株式を2022年4月1日付で譲渡することになりました。日東精工本体はもちろんのこと、そのグループのねじ関連企業とも連携を取りシナジー効果を生むことで、お客様からのより多くのご要望にお応えすることができると確信しております。

代表取締役会長北井敬人、代表取締役社長北井啓之は、そのまま代表取締役として、これまで同様の経営方針で事業運営に、より一層邁進して参る所存でございます。お取引先様及び関係者各位の皆様におかれましては、従前変わらぬご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

敬具